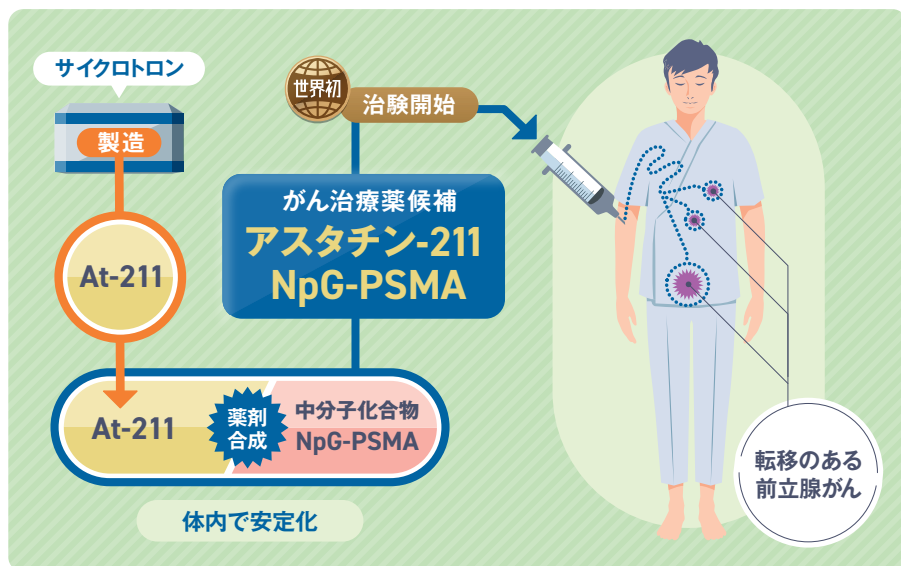


TOPIC

前立腺がん治療の新しい可能性 –放射性治療薬候補の治験について発表



転移のある 前立腺がんへ

.....

本学が誇る医療用中型
サイクロトロンを活用
製造から臨床試験までを
一貫して行う体制のもと
「純国産」の医薬品開発

.....

令和7年9月18日(木)、本学で前立腺がんに対する放射性治療薬候補の治験について記者会見を開催しました。

会見には竹之下誠一理事長兼学長、医学部泌尿器科学講座の小島祥敬教授、先端臨床研究センターの志賀哲教授、医療研究推進センターの小早川雅男教授、先端臨床研究センターの高橋和弘教授の計5名が参加しました。

主な会見内容は次の通りです。

去勢抵抗性前立腺がんを対象とした、純国産の放射性治療薬候補「211At-NpG-PSMA」

の医師主導治験を開始します。

211At-NpG-PSMAはがん細胞を至近距離で狙い撃ちする強力なアルファ線放出核種アスタチン-211(211At)を含み、好ましくない作用の原因となる放射性核種の遊離が少ない「NpG構造」によってリガンドと結合しています。

本学がこれまで進めてきた、悪性褐色細胞腫に対する治験に続く、放射性治療薬候補の治験としては2つ目となります。

医療用中型サイクロトロンによる放射性薬

剤の製造から臨床試験まで一貫して対応できる国内随一の体制を本学は確立しています。

東日本大震災と原子力発電所事故以来、本学は「放射線健康リスク科学」という新たな分野に挑戦し、放射線の「負」のイメージを払拭し、医療という「希望の光」に変える研究を進めてきました。

竹之下誠一理事長兼学長は、記者会見で、「この取り組みが福島復興の象徴であり、世界に誇る先端医療研究である」と強調しました。



REPORT

作業療法学科： 国内最大規模のインクルーシブメイカソン開催報告

保健科学部作業療法学科は、NPO法人ICTリハビリテーション研究会と共催で、9月6日(土)から7日(日)の2日間にわたり、学科説明会を兼ねたモノづくりイベント「インクルーシブメイカソン」を開催しました。

このイベントは、障害当事者、高校生、大学生、現役の作業療法士、企業エンジニアなど、約80名の参加者がチームを組み、3Dプリンタ

などのデジタルツールを活用して、生活上の課題を解決する自助具を開発する取り組みです。

参加者は2日間を通して、アイデアの創出から製作、発表までを行いました。最終日には各チームが開発した成果物のプレゼンテーションと表彰式が行われました。

世代や専門分野を超えた協働を通じて、障害



のある方の生活を豊かにする新たな発想が生まれ、実践的な課題解決を学ぶ貴重な機会となりました。





令和6年度医学部優秀教員表彰

令和7年9月16日(火)に、本学にて「令和6年度医学部優秀教員表彰式及び受賞者講演」を実施しました。

本表彰は、本学教員の意欲向上と大学教育の活性化を目的に毎年実施しているもので、令和6年度は、講義部門において総合内科・総合診療学講座 遠藤芽依助手(対象講義:医療入門I プライマリ・ケアと地域医療)が、実習部門において病態

制御薬理医学講座 三坂眞元講師(対象実習:生理学・薬理学実習)が受賞しました。

竹之下誠一理事長兼学長から受賞者へ「今後も引き続き医学教育へ弛まぬ熱意を注ぎ、福島の地に根ざす大学として、それらの成果をあまなく地域に還元し、福島の未来の創造と発展、県民の健康を支えるべく活躍して欲しい」と期待を述べました。



前列左より
三坂眞元講師、竹之下誠一理事長兼学長、遠藤芽依助手。後列左より、関口美穂優秀教員表彰検討部会長、鈴木弘行理事(教育・研究担当)、小島祥敬医学部教育評価委員長



Report

団体も個人も頂点に ソフトテニス部、全医体で快進撃

このたび、第59回全日本医科学生総合体育大会王座決定戦(令和7年9月6日・7日、福島開催)において、本学ソフトテニス部が団体戦・個人戦で見事に優勝を果たしましたことを、心よりお祝い申し上げます。

本大会は「全医体」と呼ばれ、医学部・医科大学生にとってインカレに相当する位置づけを持つ大会です。

医学生は学業の都合により練習時間が限られ、また卒業年度も一般大学生と異なるため、医学生同士の交流を深めることを目的に毎年開催されています。

地元・福島での開催となった今大会では、本学ソフトテニス部が主管校として運営を担いました。選手としても大きな成果を挙げ、男子団体・女子団体・女子個人の3種目で優勝を果たしました。

男子団体決勝では熊本大学を3-1で下し、女子団体決勝では秋田大学を破ってアベック優勝を達成。さらに女子個人戦では、能怜那さん(医学部5年)／三浦知尋さん(医学3年)ペアが弘前大学ペアに4-0で快勝し、団体戦に加えて個人戦でも栄冠を手に入れました。

日々の厳しい学業と練習を両立させ、この

ように輝かしい成果を挙げられた選手の皆さんに、心から敬意を表します。この快挙は、一人ひとりの努力とチームワークの結晶であり、本学の大きな誇りです。

今後ますますのご活躍を期待しています。選手の皆さん、本当におめでとうございます!

『ソフトテニス・マガジン』

で紹介されました!

(2025年11月号／ベースボール・マガジン社)



INFORMATION

「いきいき健康づくりフォーラム in いわき」開催のお知らせ

健康増進センターでは、地域住民の皆様の健康をサポートするため、「いきいき健康づくりフォーラム in いわき」を開催いたします。

今年のテーマは「みんなでチャレンジ! 減塩・禁煙・脱肥満」。誰もが抱える健康の悩みを、楽しく学びながら解決できる一日です。

ステージでは、料理愛好家平野レミさんによるトークショーを実施し、食事のバランスを考えた健康生活を提案します。特別企画では、保健科学部理学療法学科の森下慎一郎教授と、ふくしま健民プロジェクト大使の長沢裕氏が登壇し、「フレイルについて知ろう! 〜いつまでも自分らしく〜」と題して、楽しみながら実践できる簡単な運動プログラムを紹介します。

会場には体組成測定や健康相談ができるブースを設置。さらに、日常生活での実践を応援する「健康連続講座」についてもご案内。どなたでも参加でき、生活習慣の改善や運動習慣づくりに役立つ内容をご紹介します。

ご家族やご友人と共に、健康習慣を始めるきっかけにぜひご参加ください。

開催概要

日時 令和7年11月2日(日) 10:00~15:00

会場 いわき市文化センター(いわき市立中央公民館)

主催 福島県立医科大学健康増進センター

共催 福島県・いわき市

入場
無料

いま
健康づくり
フォーラム in いわき 2025

詳細は
こちらから

